

事業所名 アリス Family Support 放課後デイサービス

## 支援プログラム

作成日

令和8 年

4 月

日

法人(事業所)理念	私たちは、お子さま一人ひとりに丁寧に向き合い、その子が本当に必要としている支援を大切にします。日々の小さな積み重ねを重視し、あきらめることなく課題に寄り添いながら、できる方法を共に見つけていきます。今の取り組みが将来につながると信じ、お子さまの生きづらさを少しずつ和らげ、生きていくうえでの困難が少なくなるよう支援します。自分らしく前向きに成長できるよう、安心できる環境になかで力を育んでいきます。				
支援方針	当事業所では、お子様一人ひとりの特性やニーズを大切に、丁寧に向き合う支援を行います。日々のかかわりの中で、小さな「できた!」を積み重ねることを重視し、あきらめることなく課題の改善に取り組みます。また、今の取り組みが将来の自立や社会生活につながることを見据え、お子さまが感じている生きづらさを少しずつ軽減できるよう支援していきます。課題に対しては工夫を重ねながら、お子さま自身が前向きに取り組み、達成感を得られるよう関わります。安心できる環境の中で、自分らしく成長し、生きていくうえでの困難が少しでも軽くなるよう、継続的に支援します。				
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">あり</span> なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持管理・改善、基本的な生活スキルの習得を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身健康状態の把握(保護者・学校との情報共有・来所持の検温、健康観察等)</li> <li>・日常生活動作の自立(手洗い、うがい、排泄動作、身だしなみ等)</li> <li>・生活リズムの安定(長期休暇時の規則正しい生活の維持)</li> <li>・構造化を意識した環境設定(流れの視覚支援、絵カード等を利用した具体的な提示等)</li> <li>・基本的な生活スキルの獲得(買い物学習、公共交通機関の利用、調理実習等)</li> </ul>			
	運動・感覚	感覚の統合を図り、姿勢保持、バランス能力、力のコントロール、巧緻動作などの身体機能の維持・向上を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動あそび(運動器具、雲梯、ボルタリング、ボール、縄跳び、鬼ごっこ、プール等)</li> <li>・感覚あそび</li> <li>・創作活動(ハサミや糊、ボンド等を使用する絵画・工作、折り紙等)</li> <li>・姿勢の保持(個々に合わせた机・いす・足台の使用等)</li> </ul>			
	認知・行動	物事や環境を適切に理解し、行動する力の習得を支援します。また、色や数、物の大小など(空間や物の概念形成)を、学べるように支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に関する認知の形成(タイマーの活用、1日の流れの確認等)</li> <li>・空間や物の概念形成(物探し、間違い探し、ブロック、パズル等)</li> <li>・適切な行動の形成、認知の偏りへの対応(環境設定、勝ち負けのあるゲーム)</li> </ul>			
	言語コミュニケーション	自分の気持ちを個々に合った手段(言葉、文字、絵カード等)で伝えること、他者の話を聞くこと等、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の受容・表出支援、聞く力の形成(自己紹介、グループワーク、インタビューゲーム、制作作品の発表等)</li> <li>・読み書きの支援(作文、プリント、宿題等)</li> <li>・言語に特性のある子への配慮(絵カードを使ったコミュニケーション支援等)</li> </ul>			
	人間関係社会性	お友達との関係性、順番、役割、ルール等社会性の発達を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかわりの形成、共同遊びの支援(役割のある遊び、勝ち負けのある遊び、ルールのある遊び等)</li> <li>・社会資源の活用(公園、図書館、科学館等の公共施設での室内外活動等)</li> </ul>			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援</li> <li>・子育て上の課題の聞き取りと必要な助言</li> <li>・子どもを支援する輪を広げるための橋渡し</li> <li>・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整</li> <li>・関係者・関係機関の連携による支援体制の構築</li> <li>・個別面談の実施</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価</li> <li>・合理的配慮を含めた移行に当たっての環境の評価</li> <li>・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達</li> <li>・子どもの情報、保護者の意向等についての移行先への伝達</li> <li>・その他事業所の併行利用のばあいは、利用日数や時間等の調整</li> <li>・移行先の受け入れ態勢づくりへの協力</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の支援機関との連携(他所通所支援事業所、相談支援事業所)</li> <li>・医療機関、児童相談所等の専門機関との連携</li> <li>・保育園、小学校、中学校、高校等登園・登校先の関係者との連携</li> <li>・個別のケース会議の参加</li> <li>・協議会への参加</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な療育会議、職員会議、支援会議の実施</li> <li>・職員の各種勉強会や研修への参加</li> <li>・資格取得、研修の参加を積極的に支援</li> </ul>		
主な行事等	・季節に合わせた活動や、子どもの遊びや興味を促す活動を提供する。(お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分、ひな祭り、自然とのふれあい等)				

# アリス Family Support 放課後デイサービス 支援プログラム

## 健康/生活

健康状態の維持管理・改善、基本的な生活スキルの習得を支援します。

## 運動/感覚

運動器具を使い、姿勢保持、バランス能力、力のコントロール、巧緻動作などの身体機能の維持・向上を支援します。

## 認知/行動

物事や環境を適切に理解し、行動する力の習得を支援します。また、色や数、物の大小など(空間や物の概念形成)を、学べるように支援します。

## 人間関係/社会性

お友達との関係性、順番、役割、ルール等社会性の発達を支援します。

## 言語/コミュニケーション

自分の気持ちを個々に合った手段(言葉、文字、絵カード等)で伝えること、他者の話を聞くこと等、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を支援します。



事業所名

アリス Family Support 児童発達支援

## 支援プログラム

作成日

令和8年

4月

日

法人（事業所）理念	私たちは、おさま一人ひとりに丁寧に向き合い、その子が本当に必要としている支援を大切にします。日々の小さな積み重ねを重視し、あきらめることなく課題に寄り添いながら、できる方法を見つけていきます。今の取り組みが将来につながると信じ、おさまの生きづらさを少しずつ和らげ、生きていくうえでの困難が少なくなるよう支援します。自分らしく前向きに成長できるよう、安心できる環境になかで力を育てていきます。						
支援方針	当事業所では、お子様一人ひとりの特性やニーズを大切に、丁寧に向き合う支援を行います。日々のかかわりの中で、小さな「できた!」を積み重ねることを重視し、あきらめることなく課題の改善に取り組みます。また、今の取り組みが将来の自立や社会生活につながることを見据え、おさまが感じている生きづらさを少しずつ軽減できるよう支援していきます。課題に対しては工夫を重ねながら、おさま自身が前向きに取り組み、達成感を得られるよう関わります。安心できる環境の中で、自分らしく成長し、生きていくうえでの困難が少しでも軽くなるよう、継続的に支援します。						
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持管理・改善、基本的な生活スキルの習得を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>心身健康状態の把握（保護者との情報共有・来所持の検温、健康観察等）</li> <li>日常生活動作の自立（手洗い、うがい、排泄動作、身だしなみ等）</li> <li>生活リズムの安定（長期休暇時の規則正しい生活の維持）</li> <li>構造化を意識した環境設定（流れの視覚支援、絵カード等を利用した具体的な提示等）</li> </ul>					
	運動・感覚	感覚の統合を図り、姿勢保持、バランス能力、力のコントロール、巧緻動作などの身体機能の維持・向上を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>運動あそび（ボルタリング、雲梯、平均台、ボール、縄跳び、鬼ごっこ、しっぽ取り、プール等）</li> <li>感覚あそび（スライム、寒天、砂等）</li> <li>姿勢の保持（個々に合わせた机・いす・足台の使用等）</li> </ul>					
	認知・行動	物事や環境を適切に理解し、行動する力の習得を支援します。また、色や数、物の大小など（空間や物の概念形成）を、学べるように支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>時間に関する認知の形成（タイマーの活用、1日の流れの確認等）</li> <li>空間や物の概念形成（物探し、間違い探し、ブロック、パズル等）</li> <li>適切な行動の形成、認知の偏りへの対応（環境設定、勝ち負けのあるゲーム）</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを個々に合った手段（言葉、文字、絵カード等）で伝えること、他者の話を聞くこと等、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>言語の受容・表出支援、聞く力の形成（自己紹介、グループワーク、制作作品の発表等）</li> <li>読み書きの支援（プリント等）</li> <li>言語に特性のある子への配慮（絵カードを使ったコミュニケーション支援等）</li> </ul>					
	人間関係 社会性	お友達との関係性、順番、役割、ルール等社会性の発達を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かかわりの形成、共同遊びの支援（役割のある遊び、勝ち負けのある遊び、ルールのある遊び等）</li> <li>社会資源の活用（公園等の公共施設での室内外活動等）</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援</li> <li>子育て上の課題の聞き取りと必要な助言</li> <li>子どもを支援する輪を広げるための橋渡し</li> <li>相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整</li> <li>関係者・関係機関の連携による支援体制の構築</li> <li>個別面談の実施</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な意向を想定した子どもの発達の評価</li> <li>合理的配慮を含めた移行に当たっての環境の評価</li> <li>移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達</li> <li>子どもの情報、保護者の意向等についての移行先への伝達</li> <li>その他事業所の併行利用のばあい、利用日数や時間等の調整</li> <li>移行先の受け入れ態勢づくりへの協力</li> </ul>				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の支援機関との連携（他所通所支援事業所、相談支援事業所）</li> <li>医療機関、児童相談所等の専門機関との連携</li> <li>保育園等登園先の関係者との連携</li> <li>個別のケース会議の参加</li> <li>協議会への参加</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な療育会議、職員会議、支援会議の実施</li> <li>職員の各種勉強会や研修への参加</li> <li>資格取得、研修の参加を積極的に支援</li> </ul>				
主な行事等	季節に合わせた活動や、子どもの遊びや興味を促す活動を提供する。（お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分、ひな祭り、自然とのふれあい等）						

# アリス Family Support 児童発達支援 支援プログラム

## 健康/生活

健康状態の維持管理・改善、基本的な生活スキルの習得を支援します。

## 運動/感覚

感覚の統合を図り、姿勢保持、バランス能力、力のコントロール、巧緻動作などの身体機能の維持・向上を支援します。

## 認知/行動

物事や環境を適切に理解し、行動する力の習得を支援します。また、色や数、物の大小など(空間や物の概念形成)を、学べるように支援します。

## 人間関係/社会性

お友達との関係性、順番、役割、ルール等社会性の発達を支援します。

## 言語/コミュニケーション

自分の気持ちを個々に合った手段(言葉、文字、絵カード等)で伝えること、他者の話を聞くこと等、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を支援します。



公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名				リスFamily support 泉が丘			
○保護者評価実施期間		R8 年4月/日		~		R8 年4月/日	
○保護者評価有効回答数		(対象者数) 20		(回答者数)		13	
○従業員評価実施期間		R8 年4月/日		~		R8 年4月/日	
○従業員評価有効回答数		(対象者数) 7		(回答者数)		7	
○事業者向け自己評価表作成日				R8 年4月/日			

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化、充実を図ること期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援体制が充実している 適切な心付いた個別支援の環境	パソコン化については、中物理的環境の改善に継続的に取り組んでいる。職員が活動がプログラムを立案し、固定化しているように見える。	若者プログラムでの多様化・柔軟性 発達段階別をさらに進める。
2	利用者様の安心感、満足度	安心して過せる環境づくりの徹底。 構造化、視覚支援、様々な 学年と年齢を持つことで生まれる信頼関係	安心する場所の維持とこれに 自己決定力や成功体験の強化 に向けた内容を提案
3	計画、記録、振り返り PDCAサイクルの一貫性	Check → Actのサイクルが早い 単なるサービス提供ではなく、保護者 を「共同実施者」として位置づけ、 参加を要請している。	

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援、保護者交流機会 の少なさ	イベント企画しているが、 保護者の参加のペース（日程、 内容、告知）の配慮が不足	毎月の活動報告を写真付きで 配布と共に、イベントの告知も 併せて行う。
2			
3			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	P12 Family Support		
○保護者評価実施期間	R8 年4月10日	~	R8 年4月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数) ~	R8 年4月4日 5
○従業員評価実施期間	R8 年4月4日	~	R8 年4月4日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数) ~	R8 年4月4日 2
○訪問先施設評価実施期間	R8 年4月10日	~	R8 年4月4日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 3	(回答者数) ~	R8 年4月4日 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年4月4日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援の実践力、 プロセス管理	標準化のバリエーションや日常観察を組合わせ、子どもの行動特性性、ニーズを丁寧に分析。	定例のカンファレンスの際、園側からの「事前要望シート」を提出してもらい支援内容に即反映する仕組みを構築
2	訪問支援後の 内部改善体制	保護者評価、訪問者からのアンケート、報告書の内容を基に、支援内容や体制の見直しをルーティン化。	客観性を高めるため、第三者外部評価の導入を見当
3			

	事業所の強み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部評価、客観性の不足	内部満足度が高いため自己評価だけだと十分に判別できていない。	外部評価 実施を見当。
2	プロセスと支援計画 体系化、共有	計画を作成しても、実際の支援現場で柔軟に変更する必要がある、計画通りに進まない、自己評価が反映されていない。	統一プロセスの作成・導入。 シフトなプロセスを作成し、おぼてのケースシートを使用。 3ヶ月ごとに柔軟性を見当
3			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名				FAS Family Support			
○保護者評価実施期間		R8年4月/日		～		R8年4月/日	
○保護者評価有効回答数		(対象者数) 9		(回答者数) 5			
○従業員評価実施期間		R8年4月/日		～		R8年4月/日	
○従業員評価有効回答数		(対象者数) 7		(回答者数) 7			
○事業所向け自己評価表作成日				年 月 日			

○分析結果

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的にやっている取組等		さらに充実を図るための取組等	
1	個別支援の質の高さ	徹底したFASネットの実施と、99名の 性情報収集を行い、特に「良い」とい 特性」を意識的に採り上げるよう 職員個々で共有している。		感覚統合・ABA・作業療法等の 職員の専門性向上のため、総経研修 を行う。	
2	保護者との信頼関係構築	送迎や引手渡しで顔を合わせた 性情報共有を遂行するとともに、公式SNS 利用を用いて、常に相談窓口を 設置している。		個人情報取扱いにこまめに 保護者から見えて十分に西で確認され いると感じられるよう、方針の見直しを 行う。	
3					

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと認められること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	
1	保護者向けの説明 と 情報提供の充実度	保護者の質向上に対する対応が 不足しているものの、事前のわかりやすい 事前資料が十分に準備されている。		説明資料の見直し、保護者向け の資料を作成、説明会の開催数を 見当。	
2	非常時対応、危機管理体制 の周知	マニュアルは作成されているが、 周知が不十分		保護者向け、「安全・非常時 対応説明会」を開催見当。	
3					

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	P11 Family Support 築瀬		
○保護者評価実施期間	R8 年 4月10日	～	R8 年 4月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	8
○従業員評価実施期間	R8 年 4月10日	～	R8 年 4月14日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 4月14日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ること期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「保護者」とのコミュニケーションが充実している	活動内容を SNS やおたより、日頃の引き渡しの際へ直接お伝えする工夫に心がけている。また、感情や要望が、おたよりへ迅速に反応できる体制が、整っており、職員間でも情報共有を都度行っている。	活動予定や行事を大まかに伝えるだけでなく、利用者様や保護者へ内容の趣みや目的など詳細を発信し参加の向上を計っていく。
2	一人ひとりの利用者様の個別事情への適切な対応力が高い	課題、困り感、健康状態をしっかりと把握し、一人ひとりの特性や状況に寄り添った支援を行っている。職員会議にて、統一した支援内容の決定をしている。	正規職員と非正規職員の勤務時間の違いによる情報伝達の遅れ、欠落がないように、再度、伝達方法の仕組みを試みる。
3	安全管理の意識や緊急時の対応力	安全計画を策定し、研修は訓練を定期的に実行する。安全管理体制を一定程度整えている。ビヤリハット事例の共有や再発防止の検討など日々のリスク管理は取り組んでいる。	安全計画、BCP、虐待防止マニュアルを、年2回見直し、全職員で話し合わせ、実践訓練を行い、徹底周知する。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域関係機関との連携が不十分	職員の配置が事業所内の支援に集中しており、地域連携専任の時間や担当が確保されていない	正規職員1名「地域連携担当」に任命を見当。
2	保護者支援・家族支援プログラムの充実度が低い	「保護者全体への学びの場」や「保護者同士の交流の場」を企画・運営するリソースが不足。	保護者プログラムの年間計画を作成。 eX、Aポイントレニューが、保護者勉強会
3			